

# 空港整備特別会計

# 平成18年度特別会計財務書類の概要

## 貸借対照表

(単位:十億円)

	前年度	18年度	増減		前年度	18年度	増減
< 資産の部 >				< 負債の部 >			
現金・預金	92	114	22	未払金	3	2	△1
たな卸資産	100	98	△2	未払費用	4	3	△0
貸付金	408	398	△9	賞与引当金	4	4	△0
貸倒引当金	△0	△0	△0	借入金	901	891	△9
有形固定資産	1,630	1,644	14	退職給付引当金	97	94	△2
国有財産 (公共用財産を除く)	1,579	1,593	14	他会計繰戻未済金	39	39	—
物品	50	50	△0	その他の負債	0	0	0
無形固定資産	19	29	9	負債合計	1,049	1,036	△12
出資金	524	564	39	< 資産・負債差額の部 >			
その他の資産	0	0	0	資産・負債差額	1,726	1,812	86
資産合計	2,776	2,849	73	負債及び資産・負債差額合計	2,776	2,849	73

## 業務費用計算書

(単位:十億円)

	前年度	18年度	増減
人件費	56	55	△0
退職給付引当金等繰入額	9	10	1
空港等整備費	59	64	5
補助金等	17	17	0
補給金	9	9	—
独立行政法人運営費交付金	1	1	0
庁費等	61	61	△0
減価償却費	101	92	△8
支払利息	28	25	△2
資産処分損益	4	4	△0
その他の業務費用	10	10	0
本年度業務費用合計	359	353	△6

## 資産・負債差額増減計算書

(単位:十億円)

	前年度	18年度	増減
前年度末資産・負債差額	2,015	1,726	△288
本年度業務費用合計(A)	△359	△353	6
財源(B)	401	401	△0
自己収入	244	253	8
他会計からの受入	157	148	△8
無償所管換等	△10	15	26
資産評価差額	△320	22	342
本年度末資産・負債差額	1,726	1,812	86
(参考) (A)+(B)	41	48	6

## 区分別収支計算書

(単位:十億円)

	前年度	18年度	増減
業務収支	147	150	2
財務収支	△55	△36	19
本年度収支	92	114	22
(業務収支+財務収支)	92	114	22
翌年度歳入繰入	92	114	22
その他歳計外・預金本年度末残高	0	0	△0
本年度末現金・預金残高	92	114	22

## 空港整備特別会計の業務等の概要

- 設置目的  
航空輸送需要の増大に対処し、空港整備の促進と維持運営の円滑化を図るとともに、受益と負担の関係を明確にしつつ所要の財源を確保するため、空港整備特別会計を設置し、一般会計と区分して経理するため設置されたものである。
- 業務内容  
空港の設置、改良、維持及び修繕に関する事業等を実施している。
- 定員数 7,322人
- 歳入歳出決算の概要  
歳入 5781 億円 (空港使用料収入 2211 億円 一般会計からの受入 1484 億円)  
歳出 4638 億円 (空港整備事業費 1375 億円 空港等維持運営費 1479 億円)  
差引 1143 億円
- 積立金残高  
なし

## 主な科目の内容

- 貸借対照表
  - 貸付金…主に成田国際空港(株)、関西国際空港(株)、中部国際空港株に対する貸付金
  - 有形固定資産…主に空港施設
  - 出資金…主に成田国際空港(株)、関西国際空港(株)に対する出資金(主に固定資産台帳価格への評価替による増 +224 億円)
- 業務費用計算書
  - 減価償却費…主に有形固定資産に係る減価償却費
- 資産・負債差額増減計算書  
本年度業務費用合計と財源との差額 480 億円